# 高松市立屋島西小学校　体力向上プラン

【学校教育目標】

自信をもち、協力しながら粘り強く取り組む生きる力の育成

【研究主題】

愛着形成を土台として、児童の自己肯定感、協働力、忍耐力を育てる
～非認知スキルの伸びを可視化し、教師の内省と行動の改善を促す～

**【本校の課題】**

〇男子が多くの種目で県平均を下回っている学年が多い。
〇特に、男子の握力、ボール投げではすべての学年に課題が見られる。
〇自分から進んで体を動かそうとする児童と、そうでない児童に大きく二極化されている。
〇全学年を通して、運動習慣が身についていない児童が多く、運動に対する積極性が低い。

**【現状】**

休み時間や昼休みに、積極的に外へ出て遊びに行く様子が多く見ることができる。しかし、その一方で教室に多く残っている児童もいて、運動に対する意識の二極化が進んでいると感じられる。

授業に対しては意欲的に取り組む児童が多く、体育の時間を楽しみにしている児童が多い。年間指導計画の工夫により、低学年・中学年・高学年の系統性が図られた。各学年団の、児童の現状に応じたルールや場の工夫により、どの児童も主体的に運動に取り組むようになり、運動従事時間が増えてきている。

**【取組み】**

年間計画・授業の工夫

運動機会を増やすために、授業での運動量を確保する。そのために、体育で使用する環境・場を確保し、十分な運動ができる時間を保障した年間計画を実施している。

既存のルールで行うのではなく、経験の有無に関係なく楽しめるルールを考え、運動への積極性を高めたい。

秋の陸上クラブ練習の実施

５・６年生は高松市の記録会に向けて行っている秋の陸上クラブ練習に加えて、4年生の希望者もさぬきっ子陸上カーニバルへの参加に向けた陸上強化練習を行う。

自己ベストを更新する喜びを味わわせることで、運動に対する苦手意識を取り除きたい。

なわとびチャレンジ

８の字大縄３分間チャレンジを各学級でチームを作り、全校生で体力つくりの時間に取り組む。また、体育委員会主催の体力つくり「なわとびチャレンジ」を秋から冬に行う。

記録に挑戦したり、友だちと一緒に活動することによって運動に対する感覚を身につけたい。

**【目標】**

〇体育の授業の運動量を増やし、体育が好きで運動に主体的に取り組む児童を育成する。
〇ルールや場を工夫し、苦手な種目でも楽しみながら運動に参加する児童を育成する。
〇新体力テストの合計記録のレベルアップを目指す。